

クラブ奉仕・会員増強部会

アドバイザー・パストガバナー	渡邊 守人 (甲府南)
リーダー・次期クラブ奉仕委員長	井上 龍朗 (清水北)
リーダー・次期広報・ロータリー情報委員長	金丸 康信 (甲 府)
サブリーダー・次期拡大・増強委員長	原田 道子 (パワー浜松)
サブリーダー・次期広報・ロータリー情報副委員長	佐々木雄三 (浜 松)

報告者名：井上龍朗 (次期クラブ奉仕委員長)
原田道子 (次期会員増強委員長)
金丸康信 (次期広報・ロータリー情報委員長)

クラブ奉仕・・・クラブ奉仕がやるべきことについて、具体的には

1. クラブ例会に出席すること
2. クラブの親睦に加わること
3. クラブのプログラムに参加すること
4. 委員になること
5. 理事を務めること
6. 会費を払うこと
7. IM、地区協議会、地区大会などに出席すること等々、各委員長がアイディアを出して肉付けをして会員を指導してください。

クラブ奉仕が円滑に機能すれば、退会者も無くなるであろうし、増強にも弾みがつくと思います。

会員増強

2005年7月1日現在会員数 3,632名
2006年2月28日現在 3,693名

	通算増	通算減	純増
全体	167名	106名	61名
静岡	126名	73名	53名
山梨	41名	33名	8名

1. 佐藤ガバナー年度にレディースプログラムを立ち上げ、先輩女性会員が地区内を卓話してまわったが、そのおかげで昨年7月末女性会員は115名になった。7月の会員増強退会防止セミナーで、寸劇をやり、好評を博した。各クラブにシナリオを配り、クラブでの上演をお願いしたが、2-3%のクラブがやってくれたようです。

クラブに持ち帰ってやってみると、いろいろ気づくことがあります。まだ、やっていないクラブは是非やってください。

2. 2620地区では、年々会員が減少しています。2000年から2005年まで、毎年1クラブ1人強ずつ減少している勘定になります。

大幅に会員が増加しているクラブも、勿論あります。こういうクラブは、多分会員増強のノウハウをもっていると思います。他のクラブにも参考になると思うので、成功例の発表会をもちたいと計画しています。

日程 2006年7月29日(土) 時間未定 場所 甲府アピオ

3. 今年度会員増強に関するアンケート調査を実施しました。結果を集計していますが、大変参考になるものがあります。この結果報告も同日行います。是非出席してください。

広報・ロータリー情報委員会関係について

◎広報について

金丸委員長より次年度の広報活動の計画・考え方について説明

- ・地区内の各ロータリークラブからニュースバリューのある活動計画を早めに提供してもらい、マスコミ各社やロータリーの友などを通じて広く周知を図る。
- ・富士山の環境美化や世界文化遺産指定推進に関連する計画があれば特に重点的に広報する。

◎ロータリー情報について

- ・会員数28人の甲府城北クラブの元会長小林秀臣会員から会長としての経験にもとづいて、小クラブのクラブ運営の難しさの説明があった。
- ・世界的な会員減少傾向や、クラブ運営(特に四大奉仕委員会)のマンネリ化対策として注目を集めているCLP(クラブリーダーシッププラン)について詳細に説明があった。
この中で小林会員からはCLPでは従来の四大奉仕にかわって会員増強委員会、クラブ広報委員会、クラブ管理運営委員会、奉仕プロジェクト委員会、ロータリー財団委員会の五つの委員会で運営されることになるが、これだとロータリーの基本である「職業奉仕」の意識が弱くなる危険があるとの指摘がなされた。
- ・アドバイザーである渡辺守人パストガバナーからRI2650地区(奈良、京都など)では、次年度管内88のクラブでCLPの導入が予定されていること、山梨県内でも井上ガバナーエレクト、渡辺パストガバナーの所属する甲府南ロータリークラブでも、次年度からCLPの導入が決まっているという補足説明があり、各クラブでCLPについて真剣に討論してほしいとの要請があった。

